



○ 夏休み中

0C の手伝い、介護食士講座、技能五輪の練習、就職相談などで毎日何人かの学生が登校していますが、いつもの授業や実習がないので静かな雰囲気です。そこで学校外的话题を少し・・・。

ひこうき雲 歌の題名ではありません。飛行機雲そのものです。この夏は我が家の隣にある小学校で育てられているヒョウタンに水やりをときどきしています。ある朝五時ごろ学校に向かっていると、東の空にロケットが発射されたような垂直の飛行機雲が延びていました。水やりをしているとその飛行機は私の真上を移動していきます。一直線の雲は水やりが終わるころ西の地平線に向かっていきました。ほとんど風がなく快晴の空をその雲は全く途切れることなく虹よりもっと大きな弧を描いてくれました。あのようなダイナミックな空の情景にはなかなか出会えないと思います。文章だけで表現しましたが、皆様の頭の中に情景が浮かんだでしょうか？二十分後くらいに同じ航路を進む飛行機がありました。その雲は何回も途切れていました。下の写真は一時間以上あとのものです。ゆっくりと南のほうへ流されていく二本の飛行機雲が分かるでしょうか。

ヒョウタンですが、小学校のものと YC 校のものは兄弟のような関係です。小学校では株が二十くらいあり、たくさんのヒョウタンが実をつけてぶら下がっていますが、YC 校は一株でまだ形になっていません。受粉が足りないのかもしれませんが、もうしばらく見守っていきたいと思います。

天空の城 のような形をした雲を発見しましたので思わず撮影してみました。



真ん中のものが一直線、その上が途切れた二番目のもの



ラピュタ？



YC 校のヒョウタンとバタフライピー

シミュラクラ現象 これまでも何度か“遊んで”きました。「人間が三つの点を顔として認識してしまう現象」のことですね。今回のものは通勤で利用している車両の中にある“顔”たちです。それぞれどんな言葉を発しているか想像して楽しんでみてください。



ひこうき雲Ⅱ 上で紹介した同じ航路の飛行機ですが、今朝またしても不思議な光景を目にしましたので紹介します。図解説明ではなく文章だけです。皆さんの頭の中で情景を思い浮かべてみてください。その雲は東の空から前回と同じ角度で西に向かって延びていました。しかし私の頭の上で途切れています。「残念！」と思ってもう一度よく見ると、切れたところから続けて黒い筋が西の方へ一直線に延びています。飛行機雲が白から黒（灰）に変わっているのです。この現象を私なりに解釈したのは次のようなことです。この飛行機雲の始まりのところに太陽があり、その光線は雲の線と全く同じ角度です。黒い筋は飛行機雲の影だったのだと思います。“黒（灰）のひこうき雲”は数分で消えました。

私の説明文の表現は適切でしょうか。想像できましたか？